

## 第5章 基本目標達成のための施策と展開

## 施策 1

## 確かな学力を育む教育の推進

## 1. 幼児教育の充実

## ◆めざす姿◆

- 保護者の就労状況に関わらず、安心して教育・保育を利用しています。
- 子ども一人一人の成長と保護者ニーズに応じた適切な支援を受けています。

## ◆概要説明◆

幼児教育を充実させるため、子どもにとって望ましい集団活動を実践できる教育・保育環境を整備する必要があります。また、特色ある幼児教育の実施や預かり保育の充実、家庭教育支援など、子ども一人一人の成長と保護者ニーズに応じた適切な支援を行うことが必要です。

保護者の就労状況に関わりなく教育・保育の両方を受けることができる「認定こども園」への移行を推進します。



## ◆おやつタイム◆

～みんなで食べるとおいしいね～

## ◆ 施策の展開 ◆

### 1 多様な保育ニーズに応じた教育・保育の提供

教育・保育の質の向上を図るとともに、多様化・複雑化する保育ニーズに対応するため、民間活力も活用しながら、延長保育の実施園の拡大や年度途中入所、一時預かり事業などに対して柔軟に対応できる体制を整備します。

### 2 認定こども園への移行

認定こども園化について情報収集し、私立保育園への情報提供を図るとともに、公立保育園については、平成 30 年度に住吉保育園、平成 31 年度に経田保育園の認定こども園化を目指します。

## ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	平成 27 年度実績	平成 32 年度目標
・認定こども園への移行保育園数（公立）	0 園	2 園
・認定こども園への移行保育園数（私立）	0 園	6 園



### ◆ 夏の花壇づくり ◆

～ 大きくきれいに咲いてね ～

## 2. 学力向上の取組

### ◆ めざす姿 ◆

- 児童生徒は意欲的に学習に取り組み、確かな学力が身に付いています。
- 児童生徒が学習に取り組むための教育支援体制が充実しています。

### ◆ 概要説明 ◆

児童生徒の基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図り、自ら考え、判断し、様々な問題を解決する力の育成に努めます。

また、一人一人の教員が資質を高め、魅力ある授業を展開できるよう、教育力の向上を目指します。



### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 学力向上プラン研究授業の推進

①「魚津っ子の学び向上委員会」を組織して、全国学力・学習状況調査や各種学力調査の累積した集計結果を総合的に調査・分析し、課題の把握と解明に向けた研究・共通実践を進めます（学力向上講演会、授業改善研修会、公開授業、成果発表会の開催）。

②標準学力調査を実施し、学級や個々の検証・分析を行い、より効果的な指導の研究を進めます。

#### 2 学習支援員等による学習サポート環境の整備

① 学習の支援が必要な児童生徒に対してきめ細かな指導を行うため学習支援員やALT、外国語活動指導員の配置を充実します。

② 児童生徒が言語を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにするため、学校図書館司書の配置を充実するとともに、図書管理や図書環境の向上を図り読書活動を推進します。

### 3 家庭学習の定着と充実

保護者用リーフレット「家庭学習のすすめ」を全家庭に配布し、学校と家庭が連携しながら児童生徒の学習意欲を高め、家庭学習の習慣化と定着を図ります。

### 4 教員の資質向上

① キャリアに応じた研修を充実させ、教員としての高い専門性や指導力等の資質向上を図ります。

② 大学院や専門機関への派遣研修を推進して教員の資質向上を図るとともに、本市教育の振興に努めます。

### 5 ICT環境の整備・充実

コンピュータや書画カメラ、電子黒板等の教育環境を整備し、学習意欲の向上や知識及び技能の定着を図ります。

#### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	平成26年度実績		平成32年度目標			
・学習の達成状況	小学校	101.0%	小学校	102.0%		
	中学校	92.3%	中学校	100.0%		
・授業内容がよく分かった児童生徒の割合	小学校	国語	28%	小学校	国語	40%
		算数	40%		算数	50%
	中学校	国語	22%	中学校	国語	30%
		数学	43%		数学	50%
・家庭学習時間が平日1時間以上の児童生徒の割合	小学校	62.4%	小学校	65.0%		
	中学校	54.2%	中学校	60.0%		
・読書時間30分以上の児童生徒の割合	小学校	41.9%	小学校	50.0%		
	中学校	27.7%	中学校	35.0%		

### 3. 特別支援教育の充実

#### ◆ めざす姿 ◆

- 学校と家庭、関係機関が連携しながら一人一人の教育的ニーズに応じた教育や支援を行い、自立と社会参加できる人間を育成しています。
- 特別支援教育推進のための人的、物的環境が整備されています。

#### ◆ 概要説明 ◆

共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための動向を踏まえ、特別な支援を要する幼児や児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、学習上又は生活上の困難を克服し、自立と社会参加を進めるため、適切な指導や必要な支援を行います。

#### ◆ 施策の展開 ◆

##### 1 一人一人のニーズに応じた教育内容の充実

幼稚園や小中学校が作成する「個別の指導計画」に基づいて、関係機関と連携しながら、一貫した支援を行います。

##### 2 教育環境の整備

- ① 各学校において特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の整備を行います。
- ② 特別な支援が必要な児童生徒に対してきめ細かな指導を行うため、特別支援スタディーメイトの配置を充実していきます。また、特別支援スタディーメイトの質の向上を目指し、研修会を開催します。

##### 3 指導・支援の充実

- ① 発達障がいや知的障がい等の児童生徒に対する支援のあり方について理解を深めるために、教職員の研修会の充実を図ります。

- ② 専門的な知識・技能を身に付けるため、特別支援学校との交流や研修を積極的に推進します。

#### 4 教育相談の充実

月1回の「にこにこ相談会」を継続するなど、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行えるように、就学相談等の充実を図ります。

#### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	平成26年度実績	平成32年度目標
・特別な支援を要する児童生徒の「個別の指導計画」を作成した割合		



◆スタディーメイト◆

## 1. 豊かな心の育成

### ◆ めざす姿 ◆

- 自分の良さや可能性に気づき、他人を思いやる心が育まれています。
- 気持ちの良い挨拶や返事ができ、誰とでも仲良く助け合い、時と場に  
応じた行動ができます。
- ふるさとの自然や文化、歴史に親しみ、郷土への愛着と誇りをもつ心  
が育まれています。

### ◆ 概要説明 ◆

規範意識や公共心を身に付け、生命や人権を尊重する態度や豊かな人間性を育むために、様々な教育活動の充実を図ります。

児童生徒の成就感や自己肯定感を高めるために多様な自己実現の機会を設けます。

### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 道徳教育の充実

学習指導要領に基づいて道徳教育の全体計画を作成し、道徳の時間や特別活動を中心に教育活動全体を通して道徳教育を推進します。

#### 2 生徒指導の充実

- ① いじめや不登校について、日頃から児童生徒の観察に努めるとともに、定期的に調査を行い実態把握に努めます。また、魚津市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ撲滅に向けての取組を推進します。
- ② 市教育センター内の適応指導教室「すまいる」に、支援員を配置し、様々な問題を抱えている児童生徒の自立支援や保護者等の教育相談を行います。また、学校にスクールアドバイザーを派遣し、教

員や保護者の相談に対応します。

- ③ 学級運営の改善や児童生徒が楽しい学校生活を送るため「Q-U」調査を実施し、その効果的な活用について研修会を開催します。
- ④ 「魚津市子ども会議」を開催して、他者を思いやり支え合う心の育成や人権教育の充実を図るとともに、自浄能力のある学校づくりに努めます。
- ⑤ 幼稚園や小中学校における授業公開や合同研修会を行い、連携の強化や教育の一貫性を図ります。

### 3 いのちの教育の推進

一人一人の自尊感情を高め、自他の命がかげがえのないものであることを実感するため、各学校において助産師等の専門家や「メッセージカード」を活用するなど「いのちの教育」を推進します。

#### ◇ いのちの教育 ◇

～10代と赤ちゃん出会い事業～

10代の児童生徒が助産師や保健師から妊娠や出産、育児について話を聴き学習します。赤ちゃんや赤ちゃんのおかあさんとのふれあい、家庭や結婚の良さや育児の大切さを実感することを目的としています。



～中学生の感想から～

・自分にも赤ちゃんの時があって  
沢山の人に支えられて今生きている  
ことが分かりました。

・赤ちゃんとの触れ合いは緊張し  
たけど、自分の目を見て笑ってく  
れる顔を見たら幸せな気持ちにな  
りました。



## 4 交流教育の推進

学校の教育活動全体を通じて、交流及び共同学習に計画的、組織的に取り組み、障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒が、互いに理解を深め、共に生きようとする心や態度を育みます。

## 5 ふるさと教育の推進

- ① 規範意識や社会性を高め自分の生き方を考える機会として、中学校2年生が地域で職場体験を行う、社会に学ぶ「14歳の挑戦」を実施します。
- ② 博物館と連携したふるさと発見バスによる地域見学の実施や歴史副読本「わたしたちの魚津」、「魚津の歴史読本」を刊行するなど、郷土の歴史や文化に対する理解を深めます。

### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	平成 26 年度実績		平成 32 年度目標	
・不登校の児童生徒の出現率	小学校	0.51%	小学校	0.3%
	中学校	1.85%	中学校	1.5%
いじめ認知件数 (千人あたり)	小学校	9.2件	小学校	5件
	中学校	7.5件	中学校	5件
・学校が楽しいと答えた児童生徒の割合	小学校	56.8%	小学校	60%
	中学校	39.7%	中学校	45%
・人の気持ちが分かる人間になりたいと答えた児童生徒の割合	小学校	72.3%	小学校	80%
	中学校	81.7%	中学校	85%

## 2. 家庭・地域との連携

### ◆ めざす姿 ◆

- 児童生徒が、学校・家庭・地域の連携・協力のもと、基本的な社会性や豊かな人間性を身に付けています。
- 家庭や地域への積極的な情報発信や学校開放等、開かれた学校づくりが行われています。

### ◆ 概要説明 ◆

学校と家庭、地域が連携し、様々な教育活動を通して地域全体で児童生徒の豊かな心を健やかに育みます。

保護者や地域住民の学校行事や授業参観への参加はもちろんのこと、ゲストティーチャーとして参画を要請しながら、学校・家庭・地域が連携を密にして信頼される学校づくりに努めます。

### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 開かれた学校づくりの推進

- ① 積極的に学校開放を進めるとともに、各種便りや学校ホームページ等による広報活動に取り組みます。
- ② 学校教育に地域の資源や教育力の活用を推進します。
- ③ 地域の伝統的行事や伝承文化の継承等に参加し、特色ある学校づくりを行います。
- ④ アンケート調査や学校評議会を通して、家庭や地域の意見を広く聴取し、学校経営の改善に生かします。

#### 2 家庭教育の充実

親学び講演会や教員用、家庭用のリーフレット「家庭学習の手引き」の活用などを通して、家庭教育の定着や充実を図ります。

### 3 地域活動の推進

- ① 地域で行う体験活動を推進します。
- ② 地域行事やボランティア活動など社会体験活動の機会を広げます。
- ③ 通学路の安全確保を第一に、登下校の子ども見守り活動を推進します。

#### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	平成 26 年度実績		平成 32 年度目標	
・授業参観や学校行事に参加していると答えた保護者の割合	小学校	69.6%	小学校	75.0%
	中学校	34.1%	中学校	40.0%
・地域の行事に参加していると答えた児童生徒の割合	小学校	35.5%	小学校	40.0%
	中学校	20.6%	中学校	25.0%
・学校や児童生徒の様子が分かると答えた保護者の割合	小学校	42.3%	小学校	50.0%
	中学校	23.9%	中学校	30.0%



◆ 金山谷の獅子舞 ◆



◆ 田植え体験活動 ◆

## 1. 望ましい生活習慣の育成

### ◆ めざす姿 ◆

- 「早寝早起き朝ごはん」が定着し、望ましい食生活等の生活習慣が身に付いています。
- 自主的に生活の目標や計画を立てて、規則正しい生活を送ることができます。
- マナーやルールを守って、情報機器を活用しています。

### ◆ 概要説明 ◆

学校と家庭、地域が連携し、子どもたちの望ましい生活習慣の定着に向けた取り組みを進めます。

連携を密にして信頼される学校づくりに努めます。

### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 望ましい生活習慣の定着

- ① 市や校内保健委員会による「早寝早起き朝ごはん」運動や挨拶運動等、家庭への規則正しい生活の啓発活動を行います。
- ② インターネットやゲーム機、スマートフォン等の正しい使用法や危険性について理解を深めるため、情報モラル教育の充実と啓発に努めます。
- ③ 個人情報の取り扱いやネットワーク上のマナーの指導等について、教員研修の充実を図り、情報モラルに対する指導力の向上に努めます。

## 2 食育の推進

魚津市食育推進計画に基づいて、栄養教諭による食育の充実や地場産食材を利用したメニューコンテストの実施など、親子のコミュニケーションを図る事業に取り組みます。

### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	平成 26 年度実績		平成 31 年度目標	
・朝食を毎日食べる児童生徒の割合	小学校	89.3%	小学校	93.0%
	中学校	91.8%	中学校	94.0%
・普段1時間以上インターネットやゲームをする児童生徒の割合	小学校	54.4%	小学校	50.0%
	中学校	55.3%	中学校	50.0%
・子供が規則正しい生活をしていると答えた保護者の割合	小学校	37.1%	小学校	45.0%
	中学校	34.2%	中学校	40.0%

### ◇ 魚津市食育推進計画 ◇

「食育」とは、「様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること」とされています。

本市では、豊かな地域資源を活かしながら、家庭、学校、地域が一体となり、市として「食育」を総合的に推進していくため、平成24年3月に「魚津市食育推進計画」を策定しました。



◆ 栄養教諭による食育指導 ◆

## 2. 子どもの体力向上

### ◆ めざす姿 ◆

- 子どもたちが自ら進んで運動やスポーツの実施、体力の向上に取り組んでいます。
- 子どもたちは幼児期から運動に取り組む機会があり、生涯にわたって運動に親しむことができる環境が整っています。

### ◆ 概要説明 ◆

体力・運動能力調査等の結果分析をもとに授業改善を進め、体力向上を図るとともに、子どもたちが自ら進んで運動やスポーツに取り組み、健全に成長するよう努めます。

また、子どもが小さな頃から多種多様なスポーツに親しむことができるように、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の関係機関・団体や地域、家庭と連携し、市民スポーツ活動の育成・支援に努めます。

### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 学校等における体力向上の取り組みの推進

- ① 体力・運動能力調査の結果等の分析をもとに各学校で子どもの体力向上の課題と目標を明らかにして、授業の改善、業間活動や体育的行事等、各校の実態に応じた特色ある体力向上の取り組みを推進します。
- ② 体力づくりノート「みんなでチャレンジ3015」を積極的に活用し、目標を持って意欲的に体力づくりができるよう、関係機関と連携を図っていきます。
- ③ 幼児の体力の現状を把握し、遊びながら出来る運動プログラムの提供により、幼児期からの体力向上を図ります。

## 2 地域や家庭と連携した学校体育・スポーツの推進 及び部活動の活性化

- ① スポーツ少年団をはじめとする地域のスポーツクラブの情報を発信し、加入の促進に協力し、子どもたちのスポーツの機会の充実に努めます。
- ② 総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、体育協会等との連携により、地域のスポーツ人材を体育授業や部活動等へ派遣するなど、地域のスポーツ人材の活用を推進する体制の整備に努めます。
- ③ 子どもたちの体力向上はもとより、子どもたちが元気に活動するための基礎となる望ましい生活習慣や食習慣を身に付けるために、幼稚園や学校、家庭、地域、関係機関の連携した取組みを推進します。

### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	平成 26 年度実績 (H25 現況)		平成 32 年度目標	
・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の合計得点		魚津市	富山県	
	小 5 男子	54.87	55.22	・すべての学年男女で富山県の得点を上回る
	小 5 女子	55.94	56.38	
	中 2 男子	43.57	43.27	
中 2 女子	46.51	49.20		



◆ 武道合同稽古始 ◆



◆ みんなでチャチャチェ ◆

## 1. 安全・安心な学校施設の充実

### ◆ めざす姿 ◆

- 子どもたちが、安全・安心な学校で快適に学んでいます。
- 災害発生時には、地域住民の応急避難所として、重要な役割を担っています。
- 修繕計画に基づき、学校施設の適切な維持管理が行われています。

### ◆ 概要説明 ◆

学校施設の耐震化をはじめ、防犯対策、老朽化、バリアフリー化、情報化、多様な学習活動への対応、環境への配慮など、様々な課題に対処し、より効率的に適切な学校施設の維持・管理を図っていきます。

### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 学校施設の耐震補強の推進

非構造部材の耐震化も含め、安全・安心な学校機能の維持に努めます。

#### 2 防災拠点施設の推進

市内全ての小中学校は、災害発生時の避難所に指定されています。市防災担当課と連携し、学校施設のバリアフリー化や災害備蓄倉庫の設置など、地域の防災拠点施設として整備していきます。

#### 3 普通教室への冷房設備の導入

夏季期間における子どもたちの学習環境改善のため、中学校に引き続き、統合に合わせて市内小学校の全ての普通教室に冷房設備を導入します。



## 4 学校施設の適正な維持管理

安全・安心な学校施設を維持するためには、適切な維持管理が求められます。各学校の安全計画に基づき、学校の施設及び設備の安全点検を適切に行うとともに、児童生徒の安全の確保を図るため、随時対応し、施設を長期間にわたって使用できるよう努めます。

### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	H26 年度実績	H32 年度目標
・ 普通教室の冷房化率	31.5%	77.4%



◆ 非構造部材の耐震化 ◆  
～ 吉島小学校 ～

## 2. 小学校の規模の適正化

### ◆ めざす姿 ◆

- 子どもたちが、学校での集団生活を通して、協調や対立、共感や反発などの多様な人間関係を体験し学びながら、社会性や集団性を培い、成長を遂げています。
- 教員がお互いに連携し、指導計画や評価、教材研究等が行われ、円滑に学校運営が行われています。
- 子どもたちが、地域の人たちとともに様々な地区行事に参加しています。

### ◆ 概要説明 ◆

平成 26 年 3 月に策定した「魚津市学校規模適正化推進計画」に掲げる目標年度に向けて、小学校の統合を進めます。また、統合を円滑に進めるため、地域や保護者の代表で構成される「統合準備会」などを通して関係者の意見を聴きながら計画を進めるとともに、「準備会だより」などで協議内容を地域や保護者の皆さんに周知します。

### ◇ 統合準備会 ◇

小学校統合にあたっては、校名、校歌、校章を新たに制定するほか学校運営に関することや制服、体操服などの学校指定品に関すること、スクールバスの運行や新たな通学路の指定など、いろいろなことを検討し、調整する必要があります。

統合準備会は、学校や保護者、地域の代表者などで構成され、新たな統合校への円滑な移行の推進を目的とし、様々な検討事項を協議します。



片貝・吉島・西布施小学校統合準備会

## ◆ 施策の展開 ◆

### 1 統合前の事前交流の実施

宿泊学習や遠足などの学校行事を通じて、関係校同士の交流の機会を設け、子どもたちの新たな交流関係が円滑に広がっていくようにするとともに、保護者や教員、地域の方々も含めた交流が活発化するよう努めていきます。

### 2 きめ細かな教育の充実

学校の統合によって、一定の教職員を確保することができることから、個々の子どもたちの理解や習熟の程度に応じたティーム・ティーチングや少人数指導など、きめ細かな教育を充実していきます。

### 3 新しい校名、校歌、校章の制定

統合校は、新たな学校の開設と位置づけ、校名や校歌、校章は全て新しく制定します。また、制定する際は、「統合準備会」にて保護者、地域の代表者、学校などの関係者で協議していくこととします。

### 4 スクールバスの導入

統合後、通学距離がおおむね3キロメートル以内については、原則徒歩による通学としますが、通学路の安全確保や地理的な事情からスクールバスの必要性が非常に高いと考えられる場合は、例外的にバスの導入を検討します。また、通学区域の弾力化も検討していきます。

## ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	H26年度実績	H32年度目標
・小学校の適正規模数の割合	25%	80%

### 3. 学びのセーフティネットの構築

#### ◆ めざす姿 ◆

- 全ての児童生徒が、家庭の経済状況によらず等しく教育を受けています。
- 保護者がもつ教育に関する悩みについて、必要な助言が行われています。

#### ◆ 概要説明 ◆

家庭の経済状況等により、意欲ある子どもたちの学習機会が損なわれないよう、必要な支援を引き続き実施してまいります。また、子どもや保護者が抱える教育に関する問題について、相談しやすい環境を整えるとともに、関係機関等と連携しながら、悩んでいる保護者の情報の共有と支援策の検討・提供を行ってまいります。

#### ◆ 施策の展開 ◆

##### 1 就学援助と奨学金貸与制度の実施

小中学校においては、経済的困難を抱える家庭に対して就学援助等引き続き実施し、教育を受ける機会を確保してまいります。また、高校や大学等への進学のため、奨学資金の貸与も引き続き実施してまいります。

##### 2 関係機関等との連携した支援

非行やひきこもり、家庭内DVといった様々な問題に対応するため、関係機関等と情報を共有し対応策の検討を行い、悩みを抱える子どもや保護者に対して適切な助言や支援策を提供します。

##### 3 教育相談に関する開かれた窓口

経済的な理由をはじめ、子育てに関する悩みなど多岐にわたる教育に関する問題について、保護者が相談しやすい開かれた窓口となるよう努めてまいります。

## 1. 公民館での教育力の向上

### ◆ めざす姿 ◆

- 子どもたちが地域の中で、人・歴史・文化・自然とふれあい、心豊かで健やかに成長していきます。
- 子どもたちが、地域の伝統行事・地域おこし・社会奉仕などの活動を通じて、多くの人々と交流し、健全な社会性を育てています。
- 子どもたちの育成に携わる方々みんなで、子育て支援のネットワークづくりが進められています。
- 地域住民が、公民館の事業や活動を通じて、教養を高めながら、より良い社会人となるよう人材の育成が進められています。

### ◆ 概要説明 ◆

公民館では、学びを通じて心の豊かさを養うため、子どもから高齢者まで幅広い世代の人々が集まり、多彩な活動を展開しています。特に、小学生の子どもたちを対象とした放課後子ども教室の一層の充実・拡充に努めていきます。

また、公民館は学びの場であるだけでなく地域住民の集いの場として機能しています。子どもたちと地域住民が、伝統行事・地域おこしや社会奉仕活動などを通じて、交流できるよう支援していきます。

### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 公民館活動振興事業

身近な学びの場である公民館で異世代交流事業、女性セミナー、高齢者学級などの公民館教室を開設し、住民の集いと学びを地域の教育環境の充実につなげていきます。

## 2 放課後子ども教育事業

小学生を対象に、放課後や休日を利用してサークル活動や地域住民との交流活動を推進します。また、子どもたちがより有意義な土曜日を過ごせるように、地域の人材を活用した活動等を公民館において展開し、地域の教育力の向上を図っていきます。

## 3 学校統合後の施設等の利活用

学校統合後の学校施設等は、公民館機能を有する地域の拠点施設として活用することを基本方針としています。市は、具体的な活用方法について、地域住民と協議しながら進めていきます。

### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	H26 年度実績	H32 年度目標
・ 地区公民館利用者数	131,500 人	132,000 人

### ◆ 地域異世代交流事業 ◆

「地域異世代交流事業」とは、核家族化が進展する少子高齢社会において、地域の子どもから高齢者まで、異なる世代が交流しながら、地域の伝統文化等を継承することや地域の絆を深めることを目的とした事業です。

この事業は、市内 13 地区全ての公民館で行っており、地区の特色を生かした活動を展開しています。



村木公民館 ～ ご幣づくり ～

## 2. 生涯を通じた学びの推進

### ◆ めざす姿 ◆

- 市民が、生涯にわたり、それぞれのライフステージに応じた学びを行っています。
- 生涯学習関連施設間で情報交換が行われ、連携を取りながら事業が展開されています。
- 新川学びの森天神山交流館は、生涯学習の拠点施設として、また、音楽を中心とした芸術・文化活動の場として活発に利用されています。

### ◆ 概要説明 ◆

あらゆる世代の市民が、それぞれの目的や社会の新たな課題に応じて自由に学びの場や機会を選択し、生涯にわたり、いつでも、どこでも自己実現に向けた学習ができるよう、学び続ける環境づくりと地域の教育力の向上に努めます。

### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 多様な学習機会の提供

あらゆる機会をとらえて市民の学習ニーズを把握し、世代に応じた魅力的な教室を開催するなど多様な学習の機会を提供します。

#### 2 生涯学習施設の連携・情報の提供

生涯学習フェスティバルの開催などにより、学習の意欲向上を図るとともに、多くの市民に関心を持ってもらえるような環境づくりに努めます。また、市内の生涯学習関連施設との情報交換を行い、連携を取りながら事業を展開します。

#### 3 社会教育団体の育成と支援

地域の人材や資源を活かした取り組みを進めるため、青少年教育、女性教育、成人教育団体等の育成と、各団体と連携・協力しながら生涯学習の担い手づくりに努めます。

◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	H26 年度実績	H32 年度目標
・自ら生涯学習に取り組んでいる市民の割合	22.2%	25.0%

◇ 生涯学習フェスティバル ◇



◆ 絵手紙教室体験コーナー ◆

魚津市生涯学習教室受講生や教室終了後、受講生が作ったサークルの成果発表の場として、平成6年から毎年3月に「生涯学習フェスティバル」を開催しています。

平成26年度は、作品展示として、写真、和布こもの、簡単手芸、絵画、絵手紙、華道、押絵の7教室165人が展示しました。



◆ コーラス友の会 ◆

また、コーラス、マンドリン、ギター、民謡、中国語会話、フラダンス、お茶席の5教室136人がステージ発表を行いました。



### 3. 図書館機能の充実と読書活動の推進

#### ◆ めざす姿 ◆

- 多くの市民が生涯学習の場として図書館を活用しています。
- 家庭や地域、学校が連携し、常に子どもたちの身近に本がある環境が整い、子どもたちの読書活動が積極的に推進されています。

#### ◆ 概要説明 ◆

市民が教養を高める施設として図書館機能を強化するとともに、子どもから大人まで市民が気軽に集い、憩える施設として環境整備に努めます。

#### ◆ 施策の展開 ◆

##### 1 地域資料の収集と活用

魚津市に関わりのある資料をより積極的に収集し、市史編纂業務を行うとともに、貴重な資料を整備し、活用します。

##### 2 図書館ボランティアの育成と支援

新たな図書館ボランティアの育成に努めるとともに、ボランティアが活動しやすい環境づくりに努めます。

##### 3 レファレンスサービスの充実

市民ニーズに沿った特色ある図書館運営に努めるとともに、レファレンスサービスの充実と、職員研修により資質向上に努め、市民の要望に迅速かつ的確に対応できるよう努めます。

##### 4 子どもの読書活動の推進

魚津市子ども読書活動推進計画に基づき、常に子どもたちの身近に本がある環境づくりを進め、児童・生徒の発達段階に沿った取り組みを行い、読書習慣を確立させるように努めます。

## 5 学校図書館司書との連携

学校図書館司書と連携、協力を図り、学校図書館の必要とする資料を把握するとともに、蔵書を充実させます。また、授業のカリキュラムに合わせた資料を貸し出します。

### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	平成26年度実績	平成32年度目標
図書館の入館者数	217,549人	230,000人
図書個人貸出冊数	310,767冊	325,000冊

### ◇ 図書館ボランティアの活動から ◇

～ はじめての絵本事業 ～  
(ブックスタート)



健康センターで行われる新生児の4か月健診時には、ボランティアの皆さんが、赤ちゃんと保護者に絵本を読み聞かせるとともに、その絵本や子育てに関する情報が入ったブックスタート・バックをプレゼントします。

赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合うきっかけをつくっています。

### ◇ レファレンスサービス ◇

レファレンスサービスとは、図書館にある資料を使い、利用者の調べものをサポートするサービスです。

図書館は「本を借りる場所」だけでなく、レファレンスサービスも本の貸し出しと同様に基本的な図書館サービスのひとつです。



## 4. 博物館機能の充実と適正管理

### ◆ めざす姿 ◆

- 常設展示の見直しや特色ある特別展・企画展の開催が行われています。
- 体験や学びを重視した活動が行われています。
- WEB サイトや出版を活用した情報発信や、生涯学習施設等の連携が進み、リピーターを含め多くの人が生涯学習の場として博物館を利用しています。

### ◆ 概要説明 ◆

魚津歴史民俗博物館、魚津埋没林博物館、魚津水族博物館が連携して、魚津の歴史や文化、地域資源を活かしたより魅力ある博物館をめざして、企画や展示の充実と施設整備を行います。また、アウトリーチ活動を積極的に行い、情報発信と体験を重視した普及活動を進めます。

### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 特色ある常設展示の整備及び特別展・企画展の開催

来館者が満足する常設展示の整備や、魅力を感じるテーマの様々な特別展等を継続的に実施します。

#### 2 地域資源を活かした体験教室

地域の歴史や自然にこだわった博物館の特色を活かして、アウトリーチ活動など、子どもから大人までを対象に体験を重視した普及活動を行い、魚津の魅力に対する理解促進と、ふるさとへの愛着心の高揚を図ります。

#### 3 博物館情報の発信

博物館に対する興味・関心を高めてもらうため、広報誌やホームページを充実させ、WEB サイトや報道機関等を通じて積極的に情報発信を行います。

◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	平成26年度実績	平成32年度目標
・魚津歴史民俗博物館の入館者数	6,502人	7,000人
・魚津埋没林博物館の入館者数	32,833人	50,000人
・魚津水族博物館の入館者数	144,991人	150,000人
・3つの博物館の企画展と学習会の開催回数	29回	40回

◇アウトリーチ活動 ◇

美術館の職員が館外で行う活動を「アウトリーチ活動」と言います。魚津水族館では、自然観察や生物採集などを通じて、子どもたちが身近な自然や生物に興味・関心を持てるよう、職員が直接学校などに出向いて一緒に活動を行っています。このようなアウトリーチ活動を平成19年度から始め、以降様々な企画を行っています。

魚津水族館水槽クリニック

～ 魚津のメダカ編 ～

水族館では、絶滅にひんしている地元産メダカ「魚津のメダカ」の保全と教材活用を行うため、小学校の池などで、メダカの繁殖を試みています。

学校で繁殖したメダカは、理科教材として活用され、池を持たない小学校には、数多く繁殖した池から配布しています。観察が終わったら再びもとの池に戻して、地元産のメダカを保全するとともに、次の世代へと命を繋ぐ大切さを伝えています。



## 1. 芸術文化活動の継承と振興

### ◆ めざす姿 ◆

- 生活にゆとりと潤いを与える文化活動により、豊かな心を持った市民が増え、魅力ある地域づくりが行われています。
- 伝統文化が継承され、市民が郷土の伝統と文化に誇りを持ち、地域に愛着を持って暮らし続けています。
- 貴重な文化財を保護・継承するとともに、新たな指定や登録等を目指して調査や手続きを進めています。

### ◆ 概要説明 ◆

ふるさとへの誇りと愛着を持った市民を増やし、魅力ある地域づくりを進めるため、多様な芸術・文化活動を積極的に支援し、幅広い芸術・文化の振興を図っていきます。

また、貴重な伝統文化の継承や文化財の保護のため、歴史や文化の紹介など幅広く市民の理解を深める啓発活動を行い、同時に未調査の文化財に関しては、早急に検証し、保護・保全を進めていきます。

### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 芸術・文化活動の推進

新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館など恵まれた文化施設を活用して、子どもの頃から美術や音楽などの優れた芸術文化に触れる機会を増やします。

#### 2 文化活動団体等との連携

市内の文化関係団体との連携を図り、市民文化祭や美術展の開催などを支援するとともに、新たな活動や若い世代を応援するなど、芸術や文化の振興を図ります。

### 3 文化財の保護・継承

地元住民の減少や高齢化などにより、国の重要無形民俗文化財「魚津のタテモン行事」など民俗文化財の保護・継承が難しくなってきましたが、ボランティアの育成や情報発信などにより、伝統文化を保存・継承する人材の育成や確保に努めていきます。

### 4 文化財の指定

指定や登録等を目指す文化財について、早急に調査・検証を行い、開発や破壊から保護するよう努めます。また、体験学習や歴史副読本の作成・活用などを通して、ふるさと教育を積極的に推進し、郷土に誇りと愛着をもった子どもたちを育てます。

#### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	平成26年度実績	平成32年度目標
・芸術文化活動に触れ、教養が高まったと感じる市民の割合	32.5%	30.0%
・郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に育まれた文化が豊かであると感じている市民の割合	56.2%	70.0%

#### ◇ 文化財保護の取組 ◇

～ 松倉城郭群 ～

富山県最大級の規模を誇る松倉城及びその支城群等について、後世に残していくため、適切な保存と活用を行っています。さらに、市民が文化財への関心や地域への愛着を高めるよう調査・研究を行っています。



松倉城の本丸跡

## 1. 生涯スポーツの推進

### ◆ めざす姿 ◆

- 市民の誰もが、それぞれの世代に応じた運動やスポーツを主体的、継続的に楽しんでいます。
- スポーツを通じて、地域の人々が深い絆で結ばれた一体感や活力ある地域社会が実現されています。

### ◆ 概要説明 ◆

市民の誰もが、いつでも、身近なところでスポーツを継続して楽しめるよう、各世代に応じたスポーツに親しむことができる機会を提供するとともに、環境を整備します。

### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 各年代におけるスポーツ活動の機会の充実

市民のスポーツ活動の定着を目指し、市民が参加しやすいイベントや各世代に応じた各種運動やニュースポーツを紹介するイベントの開催、うおづスポーツ・レクリエーション祭や体力測定会などのスポーツ活動の成果を発揮する機会の充実を図ります。

#### 2 関係団体との連携

地域のスポーツ振興に密接に関わりを持つ市内各地区の体育振興組織および総合型地域スポーツクラブの組織の育成と、それらとの連携により様々な事業を推進していきます。

### 3 啓発活動・情報提供の充実

市民が自主的に継続できる運動やスポーツを行えるような、スポーツに関する情報を発信し、広報活動の展開に努めます。

### 4 学校体育施設開放の推進

学校体育施設の開放による利用を促進するとともに、学校統合後の体育施設を地域住民が引き続き利用できるよう準備を進めます。

### 4 施設の整備と利用促進

老朽化した温水プールは、建て替えに向けた準備を進めます。その他の施設は計画的な改修を行い利用促進に努めます。

#### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	H26 年度実績	H32 年度目標
・成人のスポーツ実施率 (週1回以上、スポーツをする成人の割合)	31.0%	60.0%



Brisk Walking  
(ブリスク ウォーキング)



## 2. 競技スポーツの推進

### ◆ めざす姿 ◆

- 選手層の底辺の拡大が図られています。
- 指導者の育成が図られています。
- 国際的に活躍する選手が生まれています。

### ◆ 概要説明 ◆

全体的な競技力向上のためにも、選手層の底辺の拡大、指導者の育成に努め、未来のオリンピック選手の輩出を目指します。また、ジュニア選手の強化、育成により選手として活躍した子どもたちが、将来、地域スポーツの指導者や選手強化スタッフとしての一翼を担うという、好循環の創出を目指します。

### ◆ 施策の展開 ◆

#### 1 ジュニア指導、指導者研修の実施

小中学生を中心とするジュニアアスリートやジュニアの指導者を対象とした講習会の開催により、指導者の指導資質の向上と競技力向上の取り組みを支援します。

#### 2 クラブ組織の育成

優れた運動能力を持つ子どもの発掘と一貫指導体制が行われるよう、競技団体やクラブ組織の育成に努めます。

#### 3 運動部活動の活性化

外部指導者を派遣する中学校部活動活性化事業など、地域のスポーツ指導者の活用を図ります。

## 4 功労者の顕彰

魚津市教育委員会表彰及び魚津市「桑山」スポーツ賞の表彰制度を活用し、優秀な選手や指導者の功績を称え顕彰することで、競技者や指導者の励みとなるよう努めます。

### ◆ 施策目標 ◆

数値目標項目	H26 年度実績		H32 年度目標	
	・ 県民体育大会（二部） の順位（12郡市中）	一般	8位	一般
中学		9位	中学	7位以内



中学部活動スポーツ指導者研修会